

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|---------------------------------|
| 団体名 | 東日本大震災・暮らしサポート隊 |
| 活動テーマ | みちのくだんわ室（東日本大震災による県外避難者さんの癒しの場） |



みちのくだんわ室は、2016年3月現在45回の開催を重ね、避難者の悲嘆緩和、出会い、交流の場を創っている。参加者リストは220名に達し、延べ参加者数は1,350名を越えた。活動開始当時から理念である“癒しの場”と避難者同士の出会い、交流の場を提供している。

2014年度に引き続き「出前だんわ室」を仙台で開催した。これは、福島に帰郷された方、帰還困難区域のため帰郷はできないが故郷の傍まで戻られた方、新天地（北関東、宮城等）で家族との暮らしを再開された方など、福島県周辺に戻られた、だんわ室の元参加者の交流の場（同窓会）である。二次避難が続き、超長期化する避難生活での再会によるゆるやかな交流の場の有用性である。県外避難生活での出会い、同じ経験を持つ者同士ならではの、ひと時の再会の機会（同窓会）を継続的に開催することを検討していきたい。

避難者の状況や課題は時間の経過とともに変化し、開催当初のみちのくだんわ室の目的は、一定達成されたと考える。しかし避難生活は終わっておらず、避難者の存在、課題も多様化してきている。

新たな支援、継続的な支援について検討していきたい。また、「だんわ室たより」の発行を通じて長期避難の実態ならびに課題を広く情報発信し、一人でも多くの人に共に考える機会を提供していきたいと考える。

【写真】 左上：神戸まつりパレードへの参加(5月) 右上：神戸動物王国(7月)
左下：第2回出前だんわ室 in 仙台 (12月) 右下：姫路城バスツアー (2月)